

切花・鉢花の3月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月2日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2021年	1,661	60	
		2022年	1,456	63	
		2023年	1,489	67	
		2024年	1,421	59	
		2025年	1,481	49	
	5カ年平均		1,502	59	
	2026年見通し		1,500	50	
概要	愛知、三重、沖縄からの入荷となる。中旬以降は彼岸需要もあり、M,S規格を中心に引き合いも強まる見込み。上位等級は業務需要の動きで価格変動が大きくなる見込み。				
小 ぎ	実績	2021年	1,854	37	
		2022年	1,854	37	
		2023年	1,488	41	
		2024年	1,330	31	
		2025年	1,042	37	
	5カ年平均		1,514	37	
	2026年見通し		1,100	37	
概要	沖縄中心の入荷となる。3月を通して生産状況は減少傾向となる。中旬頃からは彼岸需要が高まるため、引き合いが強まる見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	2021年	1,295	52	
		2022年	1,173	59	
		2023年	1,295	52	
		2024年	1,087	65	
		2025年	1,378	47	
	5カ年平均		1,246	54	
	2026年見通し		1,250	50	
概要	愛知、輸入中心の入荷となる。国産は2月後半から出荷量が増加しており、前半もピンク中心に例年以上の出荷となる可能性がある。一方、輸入は入荷量が7割ほどとなる見込み。2週以降は、春彼岸及び歓送迎会に向けた需要が期待される。				
か す み そ う	実績	2021年	216	93	
		2022年	180	119	
		2023年	216	93	
		2024年	196	116	
		2025年	210	101	
	5カ年平均		204	104	
	2026年見通し		220	100	
概要	和歌山、高知、熊本からの入荷となる。2月下旬から気温が高く推移したため、3月上旬は出荷量が増加する見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2021年	269	188	
		2022年	242	190	
		2023年	269	188	
		2024年	226	216	
		2025年	227	192	
	5カ年平均		247	194	
	2026年見通し		230	200	
概要	<p>オリエンタルユリは高知、宮崎、埼玉、愛知からの入荷となる。作付面積自体が多くないため、動きの少ない入荷となる見込み。鉄砲ユリ及びLAユリは、いずれもやや少ない入荷が見込まれる。</p>				
洋らん	実績	2021年	425	75	
		2022年	337	108	
		2023年	332	118	
		2024年	337	111	
		2025年	315	121	
	5カ年平均		349	105	
	2026年見通し		320	120	
概要	<p>コショウランは微増し、国内産地からの入荷が増えてくる見込み。カトリアは気温の上昇に伴い、増加傾向にある。デンファレはソニア中心に増加し、オンシジウムも上位等級が増加すると見込まれる。シンビジウムは国産中心に入荷する予定。</p>				
ばら	実績	2021年	748	107	
		2022年	782	114	
		2023年	748	108	
		2024年	719	129	
		2025年	770	99	
	5カ年平均		753	111	
	2026年見通し		750	110	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、輸入中心の入荷となる。2月中旬以降の気温上昇により、国産は前半に出荷ピークを迎える品種もみられる。輸入は依然として前年の7～8割の入荷見込み。全体としては、前年並の入荷が予想される。</p>				
枝もの	実績	2021年	1,509	64	
		2022年	1,441	67	
		2023年	1,547	65	
		2024年	1,440	67	
		2025年	1,339	65	
	5カ年平均		1,455	66	
	2026年見通し		1,400	65	
概要	<p>ミモザ、アカシアについては前進傾向で、気温によっては出荷が終了してしまう可能性があることから、国際デー（ミモザの日）に向けた入荷は少ない年となる見込み。桜やコデマリなどは例年どおりの出荷はあり、卒業式需要には対応できる見込み。全体的に花木類は前進しているため、4月上旬は少なくなる可能性がある。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	2021年	4, 375	420	
		2022年	5, 693	506	
		2023年	7, 869	511	
		2024年	3, 317	596	
		2025年	5, 031	578	
	5ヵ年平均	5, 257	518		
	2026年見通し	5, 000	580		
	概要	<p>入荷量は前年並と見込まれる。作付量は前年と大きな差がないため、横ばいで推移する見通しである。生産割合は5号から4号へ多少のシフトが見られるものの、相場への影響は限定的と予想される。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（79.2%）、2位長野（19.2%）、3位愛知（0.7%）となっている。</p>			
ファレノ	実績	2021年	28, 684	3, 872	
		2022年	28, 833	4, 236	
		2023年	35, 611	3, 971	
		2024年	30, 986	3, 514	
		2025年	32, 507	3, 619	
	5ヵ年平均	31, 324	3, 838		
	2026年見通し	32, 000	3, 600		
	概要	<p>入荷量は前年並と見込まれる。生産量についても、大輪・ミディともに需要期に向けて前年並の見通しである。一方で、ミニタイプはやや減少する予測となっている。単価については、全体として前年並で推移する見込みである。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（55.9%）、2位千葉（9.4%）、3位静岡（5.4%）となっている。</p>			
バラ	実績	2021年	69, 459	197	
		2022年	54, 791	206	
		2023年	64, 605	217	
		2024年	46, 628	226	
		2025年	51, 082	225	
	5ヵ年平均	57, 258	204		
	2026年見通し	51, 000	225		
	概要	<p>入荷量は前年並と見込まれる。小鉢の3～4号が中心の出荷となり、5号以上については4月以降の入荷が多くなる見通しである。各種イベントにより需要が高まることが見込まれるほか、3月は例年より気温が高い予報となっており、出荷が早まる可能性がある。価格については、前年秋以降の供給量減少により高値が続いており、この傾向のまま、例年よりもやや高値で推移する見込みである。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（61.8%）、2位岐阜（31.5%）、3位愛媛（4.7%）となっている。</p>			

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	2021年	56,677	273	
		2022年	48,244	264	
		2023年	57,696	279	
		2024年	47,571	314	
		2025年	49,643	308	
	5ヵ年平均	51,966	287		
2026年見通し	50,000	310			
概要	<p>入荷量は前年並と見込まれる。一部産地では生育の遅れが見られ、装飾需要に合わせた3月初旬から中旬の出荷については、4号～5号が品薄となる見通し。経理面の事情から産地の設定価格が値上げされていることもあり、価格は例年より底堅く推移するものと見込まれる。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（22.2%）、2位香川（17.6%）、3位埼玉（14.4%）となっている。</p>				
マーガレット	実績	2021年	95,082	220	
		2022年	89,058	217	
		2023年	88,825	206	
		2024年	66,288	217	
		2025年	74,032	203	
	5ヵ年平均	82,657	213		
2026年見通し	74,000	203			
概要	<p>入荷量は前年並と見込まれる。生産は小鉢が微減となり、6号など大きいサイズは前年よりも減少する見込み。価格が不安定になりやすいサイズから生産が減少する傾向はやむを得ない面があるが、結果として相場の安定につながることを期待される。当月は装飾などの需要が高まる時期であることから、4～5号サイズの引き合いが強くなる見込み。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（30.2%）、2位静岡（20.2%）、3位岐阜（12.8%）となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	2021年	16,362	643	
		2022年	14,459	661	
		2023年	13,613	709	
		2024年	12,353	684	
		2025年	13,808	629	
	5ヵ年平均	14,119	664		
2026年見通し	13,500	630			
概要	<p>入荷量は前年より減少する見込み。出荷規格は4～6号が中心となり、全体として減少傾向となる見込み。2月は気温こそ低いものの、日照量が多い場合には開花が進むため、入荷自体は順調となる見込み。ただし、2月から続く販売不振が解消されていない場合には、相場は引き続き厳しい展開となる可能性がある。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（47.1%）、2位岡山（20.4%）、3位高知（17.5%）となっている。</p>				